

授業科目名 (英文名)	外書演習 (Advanced seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	増村 紀子	所属	会計研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	日本企業の財務諸表から、企業の財政状態や経営成績などを評価できるということはすでに学んできた。今後、外国企業についても経営状態を把握しなければならない機会が必ずある。この演習では、英文財務諸表の基礎的な知識を一步一步わかりやすく説明し、各自が英文の財務諸表に興味を持てるように指導する。到達目標は、企業の背景にあるものを考えながら、個々の項目の数値を読み取って、総合的に英文の財務諸表が示している企業の経営状況を把握できるようになることである。		
講義内容・授業計画	<p>まず日本の会計基準について大まかに復習する。次に、アメリカの英語の教科書を用いて、英文の財務諸表について学んでいく。その中で、英語で書かれた財務諸表と日本語で書かれた財務諸表の表現の違いや、会計基準の違いなどを順次学んでいく。この間、企業に関する新聞報道や、英文の財務諸表を作成している日本や世界の企業の実例を取り上げ、ディスカッションしながら皆さん自身で学んでいく形式をとる。教科書の章立ては、以下のとおりである。</p> <p>Part One—Fundamentals (財務諸表の基礎) Part Two—Connections (財務諸表の項目間の関連性) Part Three—Cash Flow (キャッシュ・フロー情報) Part Four—Analysis (財務諸表を用いた経営分析) Part Five—Truthfulness (財務諸表の信頼性)</p> <p>演習の最後には、英文財務諸表の全体からその企業の背景を考えながら現状を把握し、その企業についての企業価値の評価や、将来性の検討を皆で総合的に行う。使用言語は、前半は日本語、後半は日本語と英語を交える。最後は全部英語で講義をし発表も英語でできるようにしていくが、その時の状況に応じて各自の水準に合わせる。</p> <p>上記の計画で進行するが、皆さんの財務諸表の知識の習得状況や英語力を見ながら進めるから安心して受講してください。</p>		
テキスト	Tracy A. John and Tage C. Tracy, How to Read a Financial Report: Wringing Vital Signs Out of the Numbers, John Wiley & Sons Inc., 2014.		
参考文献	必要に応じて授業の中で紹介する。		
成績評価の基準・方法	出席 (40%)、発表とディスカッションへの参加 (20%)、提出レポート (20%)、演習への参加態度 (20%)。		
履修上の注意・履修要件	次回の演習の範囲について、わからない単語は辞書をひいておくこと。授業中に不明な箇所が出たときは直ちに質問して解決する、また他の人の発表中も自分の問題として捉えて考えていこうとする姿勢でいてほしい。		
実践的教育			
備考			